

緑の宝



2007
夏号
No.42



協会設立40周年記念「2006 緑・花ふれあい写真コンテスト」準特選 「爽涼」鈴木 美喜男（伊豆市）

目次

会長あいさつ	P2
第28回通常総会	P3
記念講演会 東京ミッドタウン「袖ヶ浦公園」とヤマガ電気「迎賓館日本庭園」	P4~5
静岡県から景観整備機構に指定を受ける	P5
緑と花の講演会 緑と花の講演会に一般県民も参加	P6
浜名湖フラワーフェスタ2007	P6~7
静岡県グリーンパンクから感謝状／ 静岡県建産連から社会貢献と業務精勤で表彰状	P8
経営企画委員会だより 本年度の協会の活動方針・事業計画決まる	P9
啓発委員会だより 暑さから身を守ろう 働く人の熱中症対策	P9~10
技術委員会だより 技術委員会視察研修会	P10~11
支部だより(中部支部) 都市緑化講演会を開催	P11
技術会だより 舞土種による自然植生を願う 第二十二回通常総会を開催	P12
県民環境情報局自然ふれあい室 富士山と桜景観への取り組み 県民の森きのこ観察会	P13
建設部森林局森林計画室 森林県民円卓会議が情報発信開始	P13
建設部都市局公園緑地室 エコバ／ふれあいの森散策、ビオトープ紹介	P14
農業試験場農業局みかん園芸室 「浜名湖フラワーフェスタ2007」が盛大に開催 フラワー・ラボ・コンクール	P14
協会日誌	P15
話題の森	P16

題字／兼松文男氏

会長挨拶



(社) 静岡県造園緑化協会会長

片桐 利男

第二十八回通常総会において、会員の皆様の御理解、御協力に
対しまして厚くお礼申し上げます。

新年度も早や四ヶ月を過ぎようとしております。企業収益の改善、需要の増加を受け、個人消費も穏やかに増加しつつあると言わざるを得ません。依然として厳しい状況から抜けられず深刻な問題となつております。その影響で受注競争は激化し、ダンピングを助長するような事態も起きております。異常な価格割れも見受けられ、依然として歯止めがかかるないようと思われて残念です。また今後、市町村合併が行われますと、変化もあるものと思われます。さらに電子入札というシステムで、行政とのコミュニケーションが取れなくなつて来たような気もします。

昨今、環境ということが第一に挙げられております。しかし実状

は口先だけで、どれだけ実行されているでしょうか。CO₂削減と譲われておりますが、地球に生きる人間・動物は植物を中心に動いております。植物は、酸素を生成することすべての生物の生命の支えとなつております。

CO₂削減についてですが、排出されたCO₂を減らすには緑を増やすことが最良だと思いますが、現段階では施策として私達造園業界にあまり振ね返つて来ないことがとても残念でなりません。

そこで、国は道路特定財源を緑化工事に使っていただき、県はC O₂を排出する車両又は企業にCO₂税を導入して対応してはどうでしょうか。例えば、登録されている車両については一台千円のCO₂税を納めていただくというようにし、納付された税は特定財源として緑化工事に充當することなどはどうだろうか。大変虫のよ

い話ではありますが、緑豊かな静岡県になるのではないですか。当協会が社団法人として発足して二十五年、いろいろな行事に積極的に参加し、支援、協力をを行つていきました。今後、協会が益々発展しますよう、協会員の皆様方のご協力をいたたき、静岡県造園協会ここに在りと言うように、今一層のお力添えをお願い申し上げます。



夏の樹

サルスベリ (ミンハギ科)

夏を代表する花、樹皮がツルツルしているところからこの名が付けられた。花期が長いことから百日紅(ヒヤシコウ)と呼ばれている。中国原産。

◆特性

- 常綠高木六七m
- 乾燥地を好み
- 耐寒性強い
- 強烈日光に耐える
- 病虫害に弱い
- 移植容易
- 大葉青色で大きい
- 潤風に強い
- 観賞花(七月) 傘形通年・樹幹通年

◆用途 庭園樹 公園樹、花木・社会環境内

- ◆ 樹種 本州・四国・九州
- ◆ 繁殖方法・挿木・取木・株分け
- ◆ その他 カイガラムシアブランジニア要注意

第二十八回通常総会

四月二十六日(木)に静岡市葵区のホテルアンソシア静岡ターミナルにおいて開催された第二十八回通常総会の概要をお知らせします。



会員の支援を期待する片桐俊文理事

総会は専務理事の司会で進行。小林昌一副会長の開会の辞で総会が始まった。冒頭、片桐利男会長の挨拶で「五月雨やあつめではやし最上川」の句になぞらえ、小さな仕事も集め、皆寄り集まって、一層大きな流れとなるよう協会の発展を願うとの考え方」と述べ、協会員の協力を頗った。

次に、協会表彰要領に基づき「会員並びに会員の代表者」「会員の従業員」に対して片桐会長から表彰状を授与した。(別掲)

部理事料所俊文氏は行政の効率化をねらいとした県組織の紹介をした後、「県は県民くらし満足度日本一の達成を目指し、自然環境や景観の保全とともに

ある観光地づくりのための各種の施策をとっている。中でも立国への実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観



会員の支援を期待する佐野康輔顧問

お忙しい中、国、県、市、各種団体の方々に来賓としてご出席いたしましたが、四名の方から祝辞を頂きました。静岡県建設

緑豊かな都市環境を実現するため、「静岡県緑化推進計画」において、都市部の緑被率の目標を既に達成している。市街地の緑の創出、温帯化対策として建築物への屋上緑化・壁面緑化等に対する期待が高まっているので、専門的技術を備える協会への要望が強まってくるだろう。会員の力添えをお願いする」と協会会員からの支援に期待した。

中央で議論している「国土形成計画」において、美しい国土の管理継承といったものが重要な施策の一つとなっている。森林

部理事料所俊文氏は行政の効率化をねらいとした県組織の紹介をした後、「県は県民くらし満足度日本一の達成を目指し、自然環境や景観の保全とともに

ある観光地づくりのための各種の施策をとっている。中でも立国への実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観

の実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観

の実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観

の実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観



会員を激励する小野寺誠一所長

の実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観

の実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観

の実現に向け国際競争力と安全で安心をもたらす環境绿化行政に取り組んでいます」と県の姿勢を紹介した。その上で協会が平成十九年三月に景観

会員を激励する小野寺誠一所長



第二十八回通常総会



男顧問 浜井卓平
議案「平成十九年度事業計画」及び取扱算定書の件、第2号議案「平成十九年度事業計画」及び取扱算定書の件、第3号議案「平成十九年度事業計画」及び取扱算定書の件、第4号議案「欠員理事選任の件」、第5号議案「災害対策準備資金規程」の件及び財政調整資金規程の件承認の件について原案通り承認されたほか、第4号議案「欠員理事選任の件」、第5号議案「災害対策準備資金規程」の件及び財政調整資金規程の件承認の件についても原案のとおり承認された。円滑な議事進行の後、高林久雄副会長の閉会の辞で総会を閉じた。

その後、片桐会長を議長に選出され、議長に選出された國、県、市、関係団体等の方々のご紹介を経て来賓の祝辞を終えた。

この後、都合で欠席された県議

出し、議事に入った。第一号議

案「平成十九年度事業報告書及

び取扱算定書の件」、「第二号議案「平成十九年度事業計画」及び取扱算定書の件」、「第三号議案「平成十九年度事業計画」及び取扱算定書の件」、「第四号議案「欠員理事選任の件」、第五号議案「災害対策準備資金規程」の件及び財政調整資金規程の件承認の件」について原案通り承認され

たほか、第4号議案「欠員理事選任の件」、第5号議案「災害対策準備資金規程」の件及び財政調整資金規程の件承認の件についても原案のとおり承認された。円滑な議事進行の後、高林久雄副会長の閉会の辞で総会を閉じた。

協会会長表彰

①「永く造園業に従事され功績が認められた会員

並びに会員の代表者の部

株式会社愛樹園 井原 剛 様

有限会社 森莊造園 森 茂 广 様

市川造園 株式会社 市川明広 様
株式会社 静岡緑地建設 右崎 豊 様

講演会

東京ミッドタウン「檜町公園」とヤマダ電機「迎賓館日本庭園」の紹介

（株）ランド・アート代表取締役
榎原八朗氏（協会技術顧問）

総会が終了したあと、同じ会場で講演会を開催した。講師は当協会の技術顧問でもある榎原八朗氏。昨年の十月二十五日に技術委員会が企画した技術視察研修会で訪れた工事中の「檜町公園」がこの春完成。その概要と見どころを解説してもらった。

東京ミッドタウン「檜町公園」は港区赤坂九丁目。四、五ヘクタールの広大な公園は東京ではこれから段階から約半年に亘って地域の団体等によりワークショップ形式で要望を取り入れながら描かれた。

公園のコンセプトは「和」で、自然を造形化したものとして笑った。

全体として見通しの良い公園が造成されることは無いだろうといふ。公園の全体の姿は基本設計の段階から約半年に亘って地域の団体等によりワークショップ形式で要望を取り入れながら描かれた。

公園のコンセプトは「和」で、自然を造形化したものとして笑った。全体として見通しの良い公園が造成されることは無いだろうといふ。公園の全体の姿は基本設計の段階から約半年に亘って地域の団体等によりワークショップ形式で要望を取り入れながら描かれた。

工事の進め方は基本設計段階でおよその見積りを出し、その後工事中に実施図面を作成し、新しい指示書を出し、業者見積りを出していくことの繰り返しだった。

体験談を語る榎原八朗氏



造成した下の池は約一八〇〇平方メートル。池の見どころは多様な湿性植物と三滝石の石組み。庄園は原石九〇トンを磨きと共に刻み、出来合いで十七トンの無垢の八ツ橋。中国製でアーチクラックが入つて納品できなかつたものが現地にあるという。また、変化に富む流れ(渓流)の本堂は上部が一、五トン／分。途中〇、五トンづつ追加しながら最も下流では五トン／分。使用したボンブが四台。

今後の手入れは、六本木ヒルズ毛利庭園の実績を踏まえて、五年間はそのままとし、それ以降にすればよいと考えている。

ヤマダ電機の「近賞館」は箱根に
ある。十九年一月十五日から約三
ヶ月で完成させた一万坪の庭園亭

低さ十七メートル。建屋と庭園工事と同時完成を条件とされ、作業の競合が障害となつた。十一月に設計を依頼され、十二月に入つて

長い直線の帯は四〇メートルの
蔭棚。赤、白、紫の三種を配置し
た。見どころは剛柱。クリの丸太
を全てチョーク掛けで八角形に仕
上げた。広大な芝生は洋芝を使
い、大通りまで続く。

熱氣を帯びる講演会場

最後に、公共の公園、一般のは
宅にあつては和風人気が出てきた。
といわれているが和風の庭を希望
してくる人がいないと最近の情勢
を語つて閉講した。

＜最観整備機構の指定＞

—(社)静岡県造園緑化協会
静岡県から景観整備機構に指定を受ける—

3月23日に県庁で吉岡全長が市街地整備室長から指定の書類を受領した。

優良な景観を形成する造園工事の技術を生かして、住みよい環境づくりを目指す当協会は平成18年9月から静岡県の「景観整備機構」の指定を受けたため準備を進めてきた。今年度から、呉須整備機構の業務を開始する。

会員各位の協力をお願いします

初年度の主要事業計画は次のとおり

業務	実施しようとする事業内容
1. 相談指導業務	緑の相談所の開設
2. 調査研究	屋上・壁面緑化技術等の資料収集等
3. その他必要な業務	パンフレット等による景観緑化の啓発普及

A photograph showing several men in a professional office environment, possibly a bank or financial institution. They are dressed in business attire, including suits and ties. Some are seated at desks with computer monitors, while others stand, engaged in discussions or reviewing papers. The office is well-lit and appears to be a busy workspace.

「景觀整備機構の制度とは」

県や「景観法」に定められた景観行政団体が、地域で活動する公益法人などを景観整備機構に指定し、景観に関する住民の取り組みに対する専門家の派遣、情報の提供、相談などの支援、良好な景観の形成を促進するための調査研究や講演会・講習会など市民への啓発活動の業務を通じて良好な景観形成の促進を期待するものです。

19.3.25 静岡新聞

卷之三

景観整備機構として取り組みが役立つことを期待したい」(市街整備室)としている

県は「県民や市町
推進する地域の骨
まちづくりにおいて

門家の派遣、良好な
観形成を促すため
調査研究などを行こ

会は景観まちづくりに対する提案、地域民による景観まちづくり活動に対する

くりに向けた活動を取り組んでいる。

営む事業者で構成、
緑豊かでゆとりと潤
のある快適な景観

構に指定した。本県
同指定は三団体目。

県は二十二日、母

景觀整備機構
県造園綠化協会

緑と花の講演会に一般県民も参加

●「自然の教育力を引き出す庭」



本の葉を用いた即興のクラフトづくりなどを交え、受講者の目と耳を強く引き寄せた。また、衛藤徹雄氏は「芝生の子供への効果」「芝生化による微気象の変化」「芝生の種類」「造成の事例と生育変化」そして「校庭の芝生化の現状」を映像によって披露し受講者の関心を引き寄せた。

●「校庭の芝生づくりの実際」



恒例となった「緑と花の講演会」が二月八日に県教育委員会後援を得てグランシップで開催された。今回は会員のみならず保育園、幼稚園、小学校等へも参加を呼びかけ、当時は一般の県民も含め約八十名の受講者が参加。講演テーマは学校の校庭緑化の意義と今話題となっている校庭の芝生化について語る山田辰美氏

熱く語る山田辰美氏



芝生づくりを解説する衛藤徹雄氏

いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人は自然とふれあう文化・季節行事を大切にする心が必要」校庭に水が循環する庭を「子供には自然遊びやネーチャークラフトが出来るやわらかい緑の空間と時間が一番」と述べるなど軽妙な語りと



一月四日に行なった。

事例として「造成の要点」「造成の事例と費用」「維持管理の実際」「公共施設で実施例が少ない阻害要因」などが、また芝生づくりに関する「管理方法」「年間管理スケジュール」「管理体制」「管理技術」「維持管理コスト」など内容をさら

に深めた次回開催を強く望む意見が数多く寄せられた。

校庭の緑化について、今回は初開導入部分の講演会であります

が、アンケートに寄せられたよう

に実際の導入にあたって、いくつかの課題がまだあります。本年

度は疑問、課題の解消に役立つ第二弾の講演会を企画していく必要

がありそうです。



開講後のアンケートではビオトープに関して、「造成の要点」「造成の事例と費用」「維持管理の実際」「公共施設で実施例が少ない阻害要因」などが、また芝生づくりに関する「管理方法」「年間管理スケジュール」「管理体制」「管理技術」「維持管理コスト」など内容をさら



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に

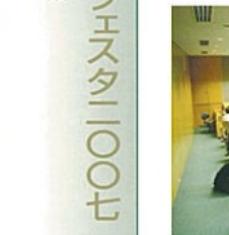


熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

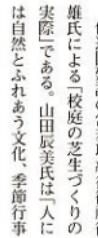
講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者

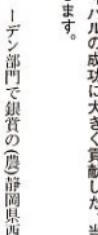


熱く語る山田辰美氏



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に



熱心に聴き入る受講者



いて行なった。

講演は富士薬業大学環境防災学部教授山田辰美氏による「自然の教育力を引き出す庭」と「秋八ヶ代造園建設の常務取締役藤嶺雄氏による「校庭の芝生づくりの実際」である。山田辰美氏は「人に





めったに見れない竹垣製作



製作と説明に活躍する会員



各種コンテストの受賞者

○庭づくりブレゼンテーション
最近ではなくなかなか直に見ることができない庭づくり現場。庭づくりの

「竹垣」を配した玄関先でお迎えする伝統工芸美の小庭を出店した。

「もてなしを彩る、私の花物語」をテーマに十五作品が出品された。当協会では西部支部が担当して出品。また、大切なお客様を「竹垣」を配した玄関先でお迎えする伝統工芸美の小庭を出店した。

○「屋外展示場コンテストガーデン部門」

「もてなしを彩る、私の花物語」をテーマに十五作品が出品された。当協会では西部支部が担当して出品。また、大切なお客様を「竹垣」を配した玄関先でお迎えする伝統工芸美の小庭を出店した。



石川知事らに説明する山本氏



出展した「Partition」



説明に熱が入る寺田氏



「イボ結び」を指導する河合氏



開心の高さを示す会場風景



相談会も盛況

【花みどり相談会】
イベント広場で三日間、園芸や造園に関する個別相談会を行った。
相談員は西部支部の会員が毎のローテーションを組んでこれにあたり、相談の合間にては、春種子やP.R.パンフレットを配布しながら来場者の相談にのつた。
花が咲かない理由、肥料の種類、雑草対策、樹木の回復対策など三十七件ほどの相談が寄せられ、スタッフも忙しく応対した。



仕上げ段階に入る

静岡県グリーンバンクから 感謝状



盛大に執り行われた記念式典



感謝状を受賞する片桐会長



五月三十一日に静岡市内のクーポール会館で静岡県建設産業団体連合会通常総会の席上、県建産連会長から当協会が社会貢献活動として環境保全活動に積極的に取り組み、公共の福益の増進に貢献したとして表彰状を授与された。また、従業員の労務及び厚生の改善に長年努めたことや、後継者の指導育成に努めたとして渡邊千鶴子氏(株富士見園、青島 彰氏株浮月園)がともに受賞した。



渡邊千鶴子氏



青島彰氏



県建産連会長から社会貢献活動部門の
表彰を受ける片桐利男会長

静岡県建産連から社会貢献 と業務精勤で表彰状

(財)静岡県グリーンバンクが創立三十周年を迎えた三月二十二日にはこれを記念して静岡市内において石川知事を迎え「創立三十周年記念式典」が執り行われた。この式典において、当協会が長年に亘り共同して取り組んできた地域緑化活動に対し(財)静岡県グリーンバンク理事長から感謝状が贈られた。



委員会だより

本年度の協会の活動方針・事業計画決まる

総務企画委員会

た。重点項目については啓発労働委員会、技術委員会の各委員会がそれぞれ分担してあたることとし

平成十九年四月二十六日の総会で承認された事業計画について、五

月三〇日の総務企画委員会で重点項目とその執行体制を審議しまし

項目	重点事業の主な内容	担当
1.環境緑化技術の向上に関する事業	○研修・講習会の開催 (例)「都市農業一般」等の緑化技術講習会、緑化の講演会等	技術委員会 啓発労働委員会 技術委員会
2.環境緑化の推進に関する事業	○緑化調査設計業務等の受託 ○各地コミュニティー緑化事業の推進 ○景観整備機構業務の推進	啓発労働委員会 技術委員会 技術委員会 技術委員会
3.造園建設業経営体制の強化に関する事業	○安全パトロールの実施 ○若手労働者育成促進会 ○環境新コース育成生の実習受け入れ ○会員、従業員に対する表彰と福利厚生事業の実施	啓発労働委員会 啓発労働委員会 啓発労働委員会 技術委員会
4.本会の目的達成のために必要な諸事業	○国、県、市町等の開催する各種関連事業への協力 ○会報「緑の会」の発行、発行資料の作成・配布 ○会員の相談所の設置	啓発労働委員会 啓発労働委員会 技術委員会

Xで発信します。

Aで発信してきた連絡、情報はメールで行うこととなりました。回答や返事が必要となる場合は、従来どおりFAXで発信します。

これまで、会員の皆様にFAXで発信してきた連絡、情報はメールで行うこととなりました。回答や返事が必要となる場合は、従来どおりFAXで発信します。

お知らせ

- ホームページの検討
- 協会のホームページを開設することについて検討することとなりました。
- 七月十一日に總務企画、啓発労働、技術の各委員会の方々で合同会議と事例として「建築ナビ」のデモンストレーションを行いました。
- 七月二日から協会の連絡、情報はメールで発信します。

- ホームページの検討
- 協会のホームページを開設することについて検討することとなりました。
- 七月十一日に總務企画、啓発労働、技術の各委員会の方々で合同会議と事例として「建築ナビ」のデモンストレーションを行いました。
- 七月二日から協会の連絡、情報はメールで発信します。

これまで、会員の皆様にFAXで発信してきた連絡、情報はメールで行うこととなりました。回答や返事が必要となる場合は、従来どおりFAXで発信します。

これまで、会員の皆様にFAXで発信してきた連絡、情報はメールで行うこととなりました。回答や返事が必要となる場合は、従来どおりFAXで発信します。

毎年、梅雨明けの時期になると、日差しが急に強くなり、この時期には激しい環境温度の変化に身体が対応しきれずに、熱中症が発生しています。

熱中症を防ぐには、関係者が熱中症に対する十分な認識を持つことが重要です。

一、「どんなとき、どんなところで起きるか」

梅雨明けから、お盆にかけての気温・湿度など高い時期

二、「どんなとき、どんなところで起きるか」

高温の中作業だけでなく、高溫の中作業でも起きる。

三、「緊急措置」

万一、熱中症が起つたら、まず救急車を呼び涼しい場所で、衣類をゆるめて安静にさせスポーツドリンクを与えます。

四、「予防策のポイント」

●水分・塩分を摂ろう

作業や運動の開始前からの補給が大切です。

また水だけの補給ですと塩分不足で熱中症のリスクが高まります。少し塩分が入った水(0.1-1.0%の食塩水)を飲むのがよいと言われています。

ささらに若干の糖分も同時に補給すると持久力が向上します。

暑さから身を守ろう 勧く人の熱中症対策

啓発労働委員会

暑さから身を守ろう 勧く人の熱中症対策

死に倒をみると医師に見てもらわなかつた例が多く見られる。

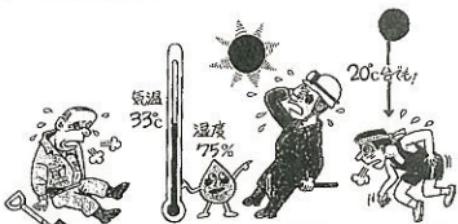
熱労作では、足を痛め上げて寝かせ、手足の先から中心部に向けてマサージをし医療機関に早めに受診させます。このとき同行者は仕事を内容や発症の経過についてよく説明してください。

熱ケイレンなら上の措置に加えて食塩も与えます。

熱労作では全身に冷水をかけて冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く急救病院に搬送します。もし、水やアイスバッカがあれば、首の下、もものつけねなど太い血管の上を冷やすのが効果的です。

熱労作では全身に冷水をかけて冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く急救病院に搬送します。もし、水やアイスバッカがあれば、首の下、もものつけねなど太い血管の上を冷やすのが効果的です。

熱 瘴 労 (熱虚脱・熱疲はい)	いわゆる脱水症状(水と塩分の強度の喪失)によって発症します。頭痛、吐き気など
熱ケイレン	発汗により血液中の塩分が失われた時に水だけを補給して起る筋肉のけいれん
熱 射 病	高体温での脳の体温中枢が痺痺し、発汗停止や意識障害を、起こす重い病体



〔中央労働災害防止協会 提供〕

●水分・塩分を摂ろう

作業や運動の開始前からの補給が大切です。

また水だけの補給ですと塩分不足で熱中症のリスクが高まります。少し塩分が入った水(0.1-1.0%の食塩水)を飲むのがよいと言われています。

ささらに若干の糖分も同時に補給すると持久力が向上します。

ドリンクも効果

死に倒をみると医師に見てもらわなかつた例が多く見られる。

熱労作では、足を痛め上げて寝かせ、手足の先から中心部に向けてマサージをし医療機関に早めに受診させます。このとき同行者は仕事を内容や発症の経過についてよく説明してください。

熱ケイレンなら上の措置に加えて食塩も与えます。

熱労作では全身に冷水をかけて冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く急救病院に搬送します。もし、水やアイスバッカがあれば、首の下、もものつけねなど太い血管の上を冷やすのが効果的です。

死に倒をみると医師に見てもらわなかつた例が多く見られる。

熱労作では、足を痛め上げて寝かせ、手足の先から中心部に向けてマサージをし医療機関に早めに受診させます。このとき同行者は仕事を内容や発症の経過についてよく説明してください。

熱ケイレンなら上の措置に加えて食塩も与えます。

熱労作では全身に冷水をかけて冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く急救病院に搬送します。もし、水やアイスバッカがあれば、首の下、もものつけねなど太い血管の上を冷やすのが効果的です。

死に倒をみると医師に見てもらわなかつた例が多く見られる。

熱労作では、足を痛め上げて寝かせ、手足の先から中心部に向けてマサージをし医療機関に早めに受診させます。このとき同行者は仕事を内容や発症の経過についてよく説明してください。

熱ケイレンなら上の措置に加えて食塩も与えます。

熱労作では全身に冷水をかけて冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く急救病院に搬送します。もし、水やアイスバッカがあれば、首の下、もものつけねなど太い血管の上を冷やすのが効果的です。

- 日常の健康管理が大切

作業前 還勤前に体調のチェックをする。
睡眠を十分にとる。夜更かしをしない。
アルコールの飲み過ぎは脱水症状になるので、水分を十分に補給する。
体力が消耗しないように余裕をもつて通勤する。

- 定期的に休憩を取ろう。

涼しさで身体をやすめる。
綿などの温かい肌に密着せず通気性や吸湿性がよい生地で、首や手足がゆるいもの。
直射日光の下ではほば広の帽子の着用を。

といえる。

この庭は、今から三〇〇年前の江戸時代に舞い戻ったような錯覚さえ感じられる池を中心に、四季折々に変化する樹木や植物の表情を体で感じることがができる日本庭園ではないかと思います。また、季節を変えてもう一度日本の四季や歴史を感じ取りながらゆっくり散策したいと思う庭園の「一つ」ではないでしょうか。ビルの谷間の中の空間一瞬、都会にいることを忘れさせれる。広大な都会の憩いのオアシスといっても過言ではないと思います。

私は這闇関係に少なからず携わってきましたが、非常に感激する思い出の庭園の「一つ」となりました。

完成に伴う各種の課題なども交えて説いていたいた。

公園全体の姿がイメージできないくらいの広さの中で園路なんか植栽だけは、欄干も含め神無塙の石材であ

り原石で90トンあったという。また、溪流に配置され置かれた石は

通じる溪流に架かる橋の二種。クラシック型と直線型の白色の平面橋。きっとどの広さの中でも園路なんか植栽だけは、欄干も含め神無塙の石材であ

り原石で90トンあったという。また、溪流に配置され置かれた石は

大型の茶室に創られた東屋が姿を現した。太い柱と梁、説教する扇下には

一定のリズムを感じる。山地に入ったときの溪流の石の向きが内凹され

ているような感じがする。

池縁にはば沿って奥に進むにつれて、池縁にはば沿って奥に進むにつれて、

物ごとに座って正面の池を堪能して

いると別の世界に来たよう錯覚を感じるほどだ。東京のど真ん中のビル群の谷間にこんな大規模公園があ

けは、生け花展にも使えるという代

例を視察した。また、たてつけて完成した大型都市公園の姿を見て都市型公園の考え方を体感した。

六本木ヒルズ（毛利庭園）を見て

「毛利庭園」は六本木ヒルズ内の東側に位置し散策の楽しめる非常に落ち着きのある緑地として一般の人々に公開されている庭園です。

これまで長い間、地域の人々に親しまれてきた毛利庭園。桜、楠、櫻、銀杏など多様な樹種で構成され、そして庭園内の石材など江戸時代の大名屋敷の名残りを現代に伝える代



東京ミッドタウン「檜町公園」

東京六本木ヒルズ「毛利庭園」、東京ミッドタウン「檜町公園」と屋上・壁面緑化

技術委員会

八技術委員会視察研修会



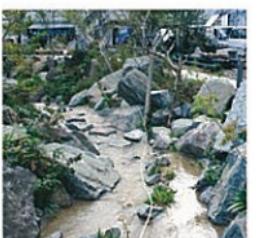
毛利庭園を散策する会員



無垢の石材で創ったクランク型ハッ橋



整備が進む「下の池」



より自然に近く演出される溪流

県民部環境局 自然ふれあい室

富士山と桜景観への取り組み



春爛漫(ハルレンマン) 平成19年度静岡県さくら写真コンクール



昨年のきのこ観察会の様子

県民の森きのこ観察会

しづおか森林共生行動宣言

コラム

富士山と桜景観への取り組み

本年度から富士山麓及びその周辺地域において、世界文化遺産にふさわしい日本を代表する自然景観を創出する観点から、新しい桜の名所づくりに取り組みます。

長期間桜が楽しめる名所・多彩な桜が楽しめる名所・周遊して楽しめる名所を取り組みの方向とし、本年度は、さくらの日の開催団体連絡会や有識者の方々との意見を伺うなど、桜が楽しめる名所についての検討を行います。

また、シンボリックの開催や県さくら主催によるさくら写真コンクールなどにより、協働の展開に向けた機運の盛り上げを進めます。

多くの桜を楽しむため、桜の魅力ある名所の構造づくりを進めます。

県民の森(静岡市葵区井川)で恒例の「さくらの観察会」を開催します。県民の森を散策しながら、生正在りるさくらの花を採取して、食玩きのことを見分けるのを採取して、夜はライトを使って、珍しいの勉強会を開催します。(希望者のみ)

定どんさきの見つけられるかは当たりませんが、お楽しみです。ぜひ、参加ください。開催は九月一十九日(土)~二十日(日)で、県民の森に一泊します。二十六名のグループと一緒にして、十組募集中です。先着順)

参加費は大人一人千円、中学生以下は一人五百円。幼兒は無料です。宿泊料は泊まる宿によって異なります。

ロジンは、部屋一千円から、ログハウスは一棟八千円からです。詳くは、

県民の森管理課までお問い合わせください。

会議は、伊豆富士・静岡・天竜の地域ごとに公募等により選定した県民委員六名と有識者の運営委員二名により構成されていますが、

会場にお集まりいたいたい参加者も交え、議論が進められます。

会議では、地域の森林の課題等について考え、森林の将来の姿

や、それを実現するための各人の関わり方、役割などを話し合いながら合意形成を図っていき、森林との共生の実現に向けた具体的な取り組みを様々な立場の県民に提案していきます。

森林県民円卓会議の開催予定、開催結果は、静岡県建設部森林

局森林計画室のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

森林県民円卓会議の開催予定、開催結果は、静岡県建設部森林

局森林計画室のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

森林県民円卓会議の開催予定、開催結果は、静岡県建設部森林

局森林計画室のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

森林県民円卓会議 情報発信開始

県では、「静岡県森林と県民の共生に関する条例」に基づき、平成十八年度に県下四地域に森林県民円卓会議を設置しました。この

会議は、伊豆富士・静岡・天竜の地域ごとに公募等により選定した県民委員六名と有識者の運営委員二名により構成されていますが、会場にお集まりいたいたい参加者も交え、議論が進められます。

会議に参加いただき、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。

地域計画が盛り込まれています。

本年度は、この行動宣言の普及と地域計画を具体的に実行に移すという取り組み等について、会場の皆さんと共に考え提案、情報発信していきます。

皆さんは、是非、森林県民円卓会議に参加して、森林との共生について一緒に考え、行動を起こしていきましょう。



森林県民円卓会議の状況(全体会議)



森の力再生事業の紹介

平成十八年度にスタートした

「森の力再生事業」では、八七七ヘクタールの荒廃した森林の整備を行いました。この事業は、從来の林業生産を前提とした整備とは異なり環境面を重視し、失われつつある森の力を早期に發揮させることを目的としています。そのため、荒廃したスキ、ヒノキの人工林の整備に加え、平成十六年の台風二十二号によつて被災した倒木が発生した森林も「森の力」の回復という目的で八八ヘクタール整備しました。また、里山林の広葉樹や竹林も要件を満たせば事業の対象になります。

事業主体には森林組合のほか、造林事業者等を含めた様々な民間企業や地域の団体を想定しており十九年度は九億五千万円で千三百八十九ヘクタールの整備をお予定です。当事業の開催がある方には最寄りの農林事務所森林整備課にお尋ね下さい。

建設部都市局 公園緑地室

エコ・バイオトープ紹介 ふれあいの森の散策、

みなさんにとって、小笠山総合運動公園など、古バスタジアムを中心とした総合スポーツ施設という印象が強いかもしれません。ところが、小笠山総合運動公園は、市街地にまたがる緑豊かな小笠山に囲まれた、自然がいっぱいの公園です。中でも「ふれあいの森」は、公園面積の約六割を占め、ビオトープを中心にして、野鳥や植物など、小笠山の四季折々の自然と文字どおりの「ふれあい」を楽しむことができます。



ビオトープ園内の池

散策道にはわかりやすい案内看板を設置

ビオトープ園には、小笠山で見られるさまざまな生き物が集まっています。「こども散策することで、豊かな小笠山の自然を感じることができます。」ふれあいの森には散策道や展望台が整備され、それらを巡る三つのコースがあります。いずれのコースも一時間から一時間半程度で歩くことができ、初心者の方や、家族連れでも安心して楽しめるラクマリーコースとなっています。休日には多くの人が散策に訪れ、小笠山の自然を満喫しています。

みなさんにとって、小笠山総合運動公園など、古バスタジアムを中心とした総合スポーツ施設という印象が強いかもしれません。ところが、小笠山総合運動公園は、市街地にまたがる緑豊かな小笠山に囲まれた、自然がいっぱいの公園です。中でも「ふれあいの森」は、公園面積の約六割を占め、ビオトープを中心として、野鳥や植物など、小笠山の四季折々の自然と文字どおりの「ふれあい」を楽しむことができます。

ビオトープ園には、小笠山で見られるさまざまな生き物が集まっています。この散策道、お気に入りのポイントを組み合わせて、自分だけのオリジナルコースを作りこもうかもしれませんね。

小笠山総合運動公園は、スポーツや散策道、お気に入りのポイントを組み合わせて、自分だけのオリジナルコースを作りこもうかもしれませんね。

このイベントは、浜名湖花博の理念を継承し、本県の花と緑の産業振興と消費拡大を目的に造園関係者をはじめ県内の花と緑の関係団体と行政などが一体となって開催する花の祭典で、昨年に引き続き、今年も開催となりました。今年も天候に恵まれ、三日間で約五万五千人の来場者を迎えて、会場は大いに賑わいました。

今年のフェスティバルは、新たに第十六回静岡県花の展覧会や小学生以下の子どもを対象とした「私の夢の庭」コンテストが加わり、生産者や子どもとの参加が増え、どなたにも楽しんでいただくことができました。

14

一つはもちろん、豊かな自然ファームドを活かしながら、自然と親しみができるという、もう一つ

の魅力を持っています。みなさんはぜひ小笠山総合運動公園に遊びください。

平成十九年度フラワー・ラボコンクール

産業部農林業局 みかん園芸室

「浜名湖フラワーフェスタ2007」が盛大に開催

四月二十七日(金)から二十九日(日)までの三日間、浜名湖ガーデンパークにおいて花と緑の総合イベント「浜名湖フラワーフェスタ2007」が開催されました。

このイベントは、浜名湖花博の理

由さを多くの方が認識されたと思

います。さらに、今年のフェスティ

バルは、春花壇の受賞校が決定しました。下記とば、中部

七県一市と中日新聞社を主催する

小中学校を対象とした学校花壇コンクールで、県内九十一校を対象に審査を行いました。

【結果概要】 大賞 湖西市立岡崎小学校

特別賞 湖西市立白須賀小学校

優秀賞(静岡県知事賞)

掛川市立千浜小学校

式後には、石川知事ははじめ多く

の方が市川さんの説明に熱心に耳

を傾けていました。

浜名湖フラワーフェスタは、今後も

静岡県技能マスターの市川一男

さんの庭が展示され、初日の開会

式後には、石川知事ははじめ多く

の方が市川さんの説明に熱心に耳

を傾けていました。

浜名湖

協会日誌

月 日	行事又は会議
平成19年	
4月 6日	平成18年度監査
4月11日	総務企画委員会
4月26日	第1回役員会
4月27日	(社)静岡県造園緑化協会第28回通常総会
5月17日	浜名湖フラワーフェスタオープン式典
5月18日	建設業労働災害防止協会静岡県支部主任・団体安全指導者会議
5月18日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
5月18日	技術委員会
5月22日	啓発労働委員会
5月23日	(社)日本造園建設業協会静岡県支部通常総会
5月23日	静岡県住宅振興協議会通常総会
5月24日	建設業労働災害防止協会静岡県支部代議員会
5月30日	総務企画委員会
5月30日	第2回役員会
5月31日	(社)静岡県建設産業団体連合会通常総会・会長表彰式
5月31日	静岡県林業技術センター振興協議会幹事会
6月 8日	静岡県造園施工管理技士会常任理事会
6月11日	(社)静岡県緑化推進協会理事会
6月11日	(社)静岡県緑化推進協会総会
6月15日	環境ビジネス協議会総会
6月21日	静岡県さくらの会通常総会
6月28日	浜名湖フラワーフェスタ幹事会
6月29日	静岡県造園施工管理技士会理事会
6月29日	静岡県造園施工管理技士会総会
7月 4日	シニアワーク造園緑化講習会(掛川会場)開講式
7月11日	啓発労働委員会
7月17日	静岡県林業技術センター振興協議会総会
7月20日	技術委員会
7月21日～22日	静岡県造園施工管理技士会主催造園施工管理技士受験対策講習会
7月23日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
7月24日～8月9日	育成管理巡回指導調査
7月26日	建設業労働災害防止協会静岡県支部主任・団体安全指導者会議
8月 7日	(社)静岡県建設産業団体連合会事務局長会議

●会員の動向 最新の情報は、7月発行の「会員名簿」平成19年6月1日現在をご覧ください。



木や花の不思議。
もっと知りたい、
学びたい。

**第九回
緑・花文化の知識認定試験**

●実施日時 平成十九年十一月十一日(日)
十四時から十五時十分(七十分)

●実施場所 静岡市葵区手町(静岡県産業経営会館)(静岡会場)
(財)公園緑地管理財團

●申込期間 平成十九年七月十七日(火)～九月二十一日(金)毎日8時～17時(郵便にて)有効

●受験料 一般(高校生以上)一,九〇〇円 子供(中学生以下)一,〇〇〇円
※ご入金後、返却致しません。

●受験区分 全八十問

●出題区分 「自然科学」「環境衛生」「平成文化」「芸術文化」と植物に関する問題

●認定方法 特級から五級までの六階級を認定。特級から五級までの六階級を認定。中学生以下の受験者は、上記認定ほかに「シニア認定を行ふ」。特級を三回取得した方には、「特別修了賞(緑・花文化賞)」の認定証と証明カードを贈呈。

第九回 緑・花文化の知識認定試験
試験日:平成19年11月11日(日)

相談役	稲幡哲夫様
(有)昭花園	寺田ちよ様
(株)静岡緑地建設	寺田一也様 平成十九年二月二十一日(逝去)
(株)山田正穂様	平成十九年三月十一日(逝去)
(株)愛樹園	後藤政子様
(井原剛様のお母様	平成十九年六月八日(逝去)



県 地球温暖化防止条例制定

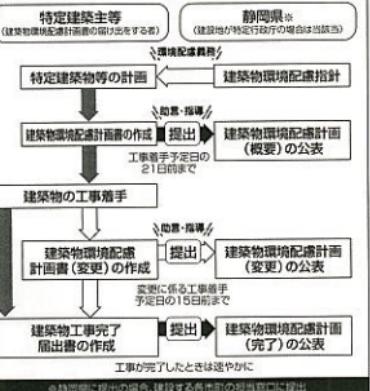
支店 郵便 局 所

2007年(平成19年)4月13日(金曜日) (12)

県 地球温暖化防止条例制定

環境配慮計画書 2000m²以上の建築物で提出義務

建築物環境配慮計画の届け出フロー



経営版 法・制度版 建設IT版

7月1日施行

環境配慮計画書への取り組みを記載した建築物環境配慮計画書の提出を義務付けた。7月1日から条例が施行され、2000平方メートル以上の建築物の建築業者に対する「静岡県建築物環境配慮システム(CASBEE)」による評価ツールを用いて、環境配慮度の評価が実施される。

環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。

環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。環境配慮度の評価は、工事着手予定日の15日前までに、建設業者に提出する。

静岡県では七月一日に「静岡県地球温暖化防止条例」が施行された。この条例は地球温暖化防止対策の推進を図るために、環境に優れた建築物の整備促進をねらいとしている。二〇〇〇平方メートル未満の建築物は環境配慮計画書の提出が任意である。では、「この条例施行によつて、造園業者への影響はあるのだろうか。」とお問い合わせ。このマニアルでは「建築物環境配慮計画書作成マニアル」があり、建築主はこれを基に計画書を作成する。このマニアルでは「生息資源の保全と確保などを求め、「生物環境の保全と創出」、「良好な景観形成を求める」、「地域性」、「アメニティへの配慮」などの評価項目がある。また、「敷地環境」には「①大気浄化に貢献する樹種に配慮する」、「②屋上緑化や外壁面の緑化に努めるよう求める」、「温熱環境悪化の改善」などを内容とした評価項目が掲げられている。まさに造園技術が地球温暖化防止の要を担う技術として重要な位置づけであることを表している。仕事が少なくなったのではなく新たな視点の活躍の場が目前に提供されているような気がしてならない。